

主催；NPOふゆみずたんぼプロジェクト・田尻町

国連大学DESD(Decade of Education for Sustainable Development)

持続可能な発展のための教育の10年プロジェクト

後援；宮城県 首都圏コープ事業連合 J A全農 J Aみどりの NPO法人民間稲作研究所



Tajiriからの発信 『たんぼからの環境再生』講座のご案内

1 開催目的

この講座は、たんぼの生物多様性に支えられ環境を切り口として、地域環境や文化、風土の再生について、それぞれの実践者による具体的方策に触れることで若い高校生、大学生、大学院生、農業者が具体的に学ぶ「たんぼからの環境と文化の再生」を考えるプロジェクト講座です。

去る6月末、田尻・仙台・気仙沼を対象とする「仙台広域圏・持続可能な開発のための教育に関する地域の拠点」(仙台広域圏RCE;Regional Center of Expertise)が発足しました。このRCEは、国連総会で決議された「国連 持続可能な開発のための教育の10年」(2005-2014)を推進するために国連大学が提唱しているもので、今回、国連大学から正式な認定を受けています。本講座は、この仙台広域圏RCEのプロジェクトとして位置づけられています。2500年以上の歴史に基づくたんぼの環境を通して、地域の持続可能性とは何かについて具体的に学び、語り合しましょう。

2 開催日時 2005年8月8日(月)～10日(水) 2泊3日

3 会場

宮城県田尻町文化センター、田尻町ロマン館、伸萌地区水田(現地研修)

住所：宮城県遠田郡田尻町沼部字富岡166 電話0229-39-0213

宿泊場所：講演の中の宿『ロマン館』(温泉付きになりました)

(ロマン館住所：宮城県遠田郡田尻町小塩字八ツ沢1番地 電話0229-39-2424)他

4 募集対象

農業高校生、環境活動を行っている高校生と教員、東北大学農学部、宮城教育大学環境教育実践研究センター、宮城大学食産業学部、宮城農業実践大学校、山形大学、新潟大学、秋田県立大学、東北公益大学などの大学生と院生。また、若い農業者40名を対象とする。

5 募集定員 40名(8月8日(月)の基調講演は定員300名)

6 日程

1日目 8月8日(月) 13:00～15:30

於：宮城県田尻町文化センター 定員300名

* 歓迎のセレモニー

ピアノ演奏：『いのち曼陀羅』 佐藤道隆氏(蔵王吟遊詩人)

歓迎の挨拶 田尻町長 堀江敏正氏

基調講演1 『持続可能な発展のための教育に関する国連大学の取り組み』

講師：国連大学高等研究所所長 A・H・ザクリ氏

(13:30～14:30)

基調講演2 『里山の自然再生と生物多様性(仮)』

講師：東京大学生命科学研究科保全生態学研究室 鷲谷 いづみ 教授
(14:30~15:30)

ほ場見学 佐々木陽悦氏ほ場, 伊東正巳氏ほ場
伸萌地区(ふゆみずたんぼ)ほ場

(15:30~16:00)

加護坊温泉「さくらの湯」でゆっくり入浴 (入浴可能時間21:30まで~)
懇親会(田尻町口マン館) (19:00~21:00)

2日目 8月9日(火) 6:00~18:00 (昼休み11:00~14:00)

野外調査と講義1: 田んぼの生き物調査 『田んぼのカエルとクモの調査法』

講師：宮城県古川農業試験場主任研究員 小山 淳
(6:00~8:00)

野外実験と講義2: 『田んぼの土を考える』

講師：東北大学大学院農学研究科附属複合生態フィールド教育研究センター
助教授 伊藤 豊 彰
(8:00~10:00)

長い昼休み(お昼寝やゆっくりとした討論を宿舎で)

野外調査と講義: 田んぼの生き物調査 『田んぼの鳥類調査法』

講師：日本雁を保護する会会長 呉地 正行
(14:00~16:00)

野外調査と講義: 田んぼの生き物調査 『泥の中の生き物調査法』

講師：NPOふゆみずたんぼプロジェクト代表, 田尻高校教諭 岩淵 成紀
(16:00~18:00)

夕食と温泉をゆったりと (入浴可能時間21:30まで)

顕微鏡プレゼン; 『田んぼの原生生物』田んぼの水の中に存在する別の宇宙

NPOふゆみずたんぼプロジェクト, 田尻高校教諭 岩淵成紀

3日目 8月10日(水) (8:00~12:15)

鼎談 農家にとっての「環境と田んぼ」

司会 岩淵 成紀
地元農家 斎藤 肇氏, 佐々木 重信氏, 佐々木 陽悦氏
(8:00~9:00)

すべてを踏まえて若者による分科会による議論と分科会報告

1 分科会討論

- (1) 今なせ田んぼなのか(文化と哲学)
 - (2) 食と農を考える(食農教育)
 - (3) 農業経営と生物多様性(農業経済と生物多様性)
 - (4) 持続可能な発展のための教育の10年(DES D)と田んぼ
- (9:00~11:00)

2 分科会報告とパネルディスカッション (11:00~12:00)

閉会宣言(12:00~12:15)

「持続可能な発展のための教育の10年」への田んぼからのメッセージ

7 提 案

- (1) この講座を将来各大学および大学院の集中講義の単位とすることを旨とする。
- (2) 高校生の環境科学の基礎となるカリキュラムの開発を旨とする。

8 参加費と参加の申込方法 (詳細は、申し込み用紙を参照してください)

(1) 参加費

1 日参加 (スポット参加)

- 8 月 8 日 (月) 2,000 円 (資料代 2,000 円)
- 8 月 9 日 (火) 3,000 円 (資料代 2,000 円 昼食代 1,000 円)
- 8 月 10 日 (水) 2,000 円 (資料代 2,000 円)

2 日間参加

- 8 月 8 日 ~ 9 日 3,000 円 (資料代 2,000 円 昼食代 1,000 円)
- 8 月 9 日 ~ 10 日 3,000 円 (資料代 2,000 円 9 日の昼食代 1,000 円)

全日程参加

- 3,000 円 (資料代 2,000 円 9 日の昼食代 1,000 円)
- 1 日目の交流会参加費 3,000 円 (20 歳以下は 2,000 円 となります。)
- 2 日目の夕食費 2,000 円

(2) 宿泊費

- 3,750 円 / 1 人 (3 人部屋 , 一泊朝食付き , 入湯税含む) × 日数)
- 宿泊先 公園の中の宿『ロマン館』

- * 3 日間フルに参加する方は、宿泊費、食費 (懇親会含む) , 資料代込み
- 20 歳以上の方 : 15,500 円 / 1 人 (20 歳以上)
- 20 歳未満の方 : 14,500 円 / 1 人 (20 歳以下)

(3) 参加申込方法

参加申込 (宿泊を含む)

申込用紙に必要事項を記入の上、郵送または FAX , E-mail にて申込んでください。申し込みの詳細は申込用紙に記載しています。

参加費の徴収方法 当日現金で頂戴いたします。

参加申し込み及び問い合わせ先

宮城県田尻町役場農政商工課 高橋 , 三田村
住所 〒989-4308 宮城県田尻町沼部富岡 183 番地 3 号
TEL 0229-39-1115 (内線 190) / FAX 0229-39-3100
E-mail : s0348@town.tajiri.miyagi.jp

【参加申し込み期限】 平成 17 年 7 月 30 日 (土)

9 その他

参加者との質疑応答・交流など

8 月 8 日 (月) 懇親会で参加者が発表することが可能ですので発表者は予めご連絡願います。

会場などで持参したポスター掲載が可能です。また、チラシや機関誌などの配布も可能です。

田尻町から研修助成 (3 日間参加の場合 5,000 円程度) が行われる予定と なっています。詳しくは後日資料をお送りいたします。